「医療職の能力開発」　投稿規程（2018年３月31日現在）

Ⅰ．概要

1．名称：日本医療教授システム学会は，学会誌「(和文名）医療職の能力開発，（英文名）Japan Journal of Health Professional Development-JJHPD を発行する．

2．雑誌発行の目的は，標準的な医療を安全・確実に提供できるような医療職の育成に資するための学術活動を展開することである．

3．当投稿規程は，学会ホームページ内，紙媒体としての雑誌内に掲載する．

Ⅱ．記事の種別

1．論文

学術的に新たな知見を加えるもの．未公刊でなければならない．それぞれの項目における字数には，引用文献も含める．図表の数には制限を設けない．文字数制限は初回査読前の目安とする．

① 原　　著：過去の知見や議論，実証データに基づき，当該分野において新たな知見を加えるもの．15,000字まで．

② 短　　報：基本的な考え方は原著と同様だが，より簡潔にまとまっており，速報性を重視するもの．6,000字まで．

③ 総　　説：既発表の論文，資料等に基づき，当該分野で知られていない概念，理論等を示すもの．15,000字まで．

④ 資料論文：有用な資料の翻訳に解説を加えるなど，当該分野の普及・紹介を目指すもの．15,000字まで．

⑤ 依頼論文：特集号で編集委員会や指定編者から執筆を依頼する場合など．字数については，依頼時に特定する．

注 A）いずれも査読を伴う．査読については後に詳述する．

注 B）①と②は IMRAD 形式に則って構成する．後に詳述する．

2．その他の記事

論文としての扱いではないが，学会活動に資する情報．

① レ タ ー：本雑誌で既発表の論文に対し，未発表データや既発表論文・資料等に基づいて独自の見解を示すもの．1,500字まで．

② 意　　見：学会に対する提案，議論，主張など．1,000字まで．

③ 学術情報：関連する学会，教育機会，論文，書籍，報告書などに関する情報．広報の場として利用することも可．1,500字まで．

④ そ の 他：学会，当雑誌に関する情報伝達を行うことがある．

注 A）いずれも掲載可否については編集委員会に一任される．

Ⅲ．投稿の原則

1．投稿資格

① 投稿に関して，特に学会員であることなど条件を付けない．

② 著作権

本誌に掲載された論文，記事の著作権は，日本医療教授システム学会に属する．当学会は，他の電子媒体等への二次利用を行う可能性がある．出典を明らかにした上で筆頭著者が Web などにおいて本誌論文を公開することは妨げない．

③ 他の著作物からの引用等は，学術的に許容される範囲内に留めなければならない．

2．倫理的配慮

① 医療者教育領域の研究においては，研究対象者（subject）や関係者が研究者に比して弱い立場に置かれる場合が多く，研究データの扱いには倫理的配慮が不可欠となる．

② 当雑誌の投稿論文で扱われる研究に関しては，主たる研究者の所属施設における倫理審査委員会（Institutional Review Board：IRB）などでの承認を経た上で実施されたものであることを論文中に謳う必要がある．

③ 所属機関に倫理審査組織を持たない研究者が中心となって研究を実施しようとする際には、暫定的に編集委員会が倫理審査を代行できるものとする．

④ 特定の企業・団体等から研究費，資金提供，便宜供与を受けて実施された研究については，投稿時にその点について記す必要がある．

Presented by Medical*Online

3．不正投稿

以下の行為が発覚したときには不正投稿とみなし，処分を検討する．

① 本誌と他誌との間での重複投稿．

② 捏造もしくは盗用されたデータの投稿．

③ 著作権や肖像権等を侵害する形での投稿．

④ 倫理的問題について隠蔽，放置した形での研究に関する投稿．

4．論文の取り下げ

公刊後に，不正投稿である可能性が著しく高まったというような状況においては，当該論文の取り下げ勧告処分を行うことがある．また，その情報については雑誌やホームページにて広報する可能性もある．

Ⅳ．執筆要綱

1．原稿の体裁

① ワードプロセッサー（Microsoft Word など）を用いてＡ４用紙横書きで記載する．

② 会話の引用部分以外は，常体の口語文体で記載する．

③ 本文中に略語を用いる際には，初出時には正式名称，フルスペルを示す．

例１）社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（以下共用試験機構）

例２）objective structured clinical examination（以下 OSCE）

④ 全体を通じて，フッタ（ページ下欄外）にページ数を振る．

⑤ 本文のみ(「背景と目的」から「考察と結論」まで)には行番号を振る．

注Ａ）④⑤については，電子査読システム導入時に再度見直す予定とする．

2．表紙（１ページ目）に含める情報

① 論文タイトル（日本語及び英語．日本語は50字以内）

② キーワード（日本語及び英語，それぞれ５個以内．日本語は医学中央雑誌，英語は Medline の MeSH を参照のこと）

③ 著者名と所属（著者名と対応する所属名に *1，*2 を付けて対応させる．それぞれに日本語と英語を記載する）

④ 連絡を行う著者の名前，住所，電話番号，e-mail アドレス

3．全体構成の IMRAD 形式

① IMRAD とは，英語での Introduction, Methods, Results, and Discussion，日本語での「背景と目的」,「方法」,「結果」,「考察と結論」の４つの部分による構成のことを示す．

② 原著，短報は本文，抄録共に IMRAD 形式を用いて記載する必要がある．教育介入の内容については，「背景と目的」あるいは「方法」の部分で一定の記述を行うこと．

③ 他の記事には，この形式による記載を求めない．

4．抄録

① 論文（原著，短報，総説，依頼論文）には，日本語（600字以内），英語（400ワード以内）両方の抄録を付けなければならない．

② 英語抄録は，英語を母国語とする者のチェックを受けた後に投稿すること．

③ 抄録と本文の内容は一貫している必要がある．

5．図表

① 表は，本文と同一ファイル内に作成し，挿入希望箇所に配置しておく．表の直上には表番号(「表１」など）とタイトルを記すこと．

② 図は，本文の挿入箇所に朱書きして場所を指定する（例：図１挿入）．

③ コンピューター上で作成した図については，縦横比を維持したままで拡大縮小して利用可能なものは，本文と同一ファイルに入れて投稿してよい．その場合，引用文献の後に，各ページに図が一つのみ入るように配置すること．また，図には図番号（「図１」など）とタイトルを記すこと．

6．告知

① 研究費を受けて実施した研究については，その旨を告知欄に示す必要がある．本文の後，謝辞か引用文献の前に配置される．

② 著者全員や各著者の関係者は，論文の内容や採択の決定に影響を与えるような利益相反を有している可能性があることを自覚しなければならない．また，金銭や人的な交流に関連した利益相反が，過去５年，あるいは将来的に生じそうな状況があると著者が自覚した場合には，告知欄においてその旨を記載しなければならない．

7．謝辞

① 謝辞を入れる場合は，本文や告知の後，引用文献の前に配置する．

Presented by Medical*Online

8．引用文献

① 本文中の引用文献番号は，引用順に上付き文字の半角数字と終わり丸括弧（例[1)]）によって付ける．

② 本文後の引用文献の記載は，米国心理学会（The American Psychological Association）の形式に則る．代表的なものを以下に示す．

* （論文）Harden, R.M., Stevenson, M., Downie, W.W., & Wilson, G.M.（1975）. Assessment of clinical competence using objective structured examination. British Medical Journal, 22, 447-451.
* （書籍）Schön, D.A.（1983）. The reflective practitioner : How professionals think in action. New York : Basic Books.
* （書籍の一部）Elstein, A.S., & Schwartz, A.（2000）. Clinical reasoning in medicine. In Higgs, J., & Jones M.,（Eds）. Clinical reasoning in the health prefessions（2nd ed.）（pp. 95-106）. Oxford : Butterworth-Heinemann.
* （和文論文）藤崎和彦．（1999）．わが国での模擬患者(SP)活動の現状．医学教育 , 30, 71-76.
* （和文書籍）梶田叡一．（2001）．教育評価．東京：有斐閣．
* （和文書籍の一部）伊藤毅志，安西祐一郎．（1996）．「問題解決の過程」．市川伸一（編）．『認知心理学 4 ：思考』（pp.107-131）．東京：東京大学出版会．
* （和訳書籍）Oliver R & Endersby C. / 小山眞理子（監訳）．（2000）．プリセプター・臨床指導者のための臨床看護教育の方法と評価．東京：南江堂．
* （Web 報告書）文部省．（1999）．21世紀の命と健康を守る医療人の育成を目指して（21世紀医学・医療懇談会第 4 次報告）, http://www.umin.ac.jp/21med/dai 4 ji/fourth.htm

③ 各学問分野において，文献記載方法にはいくつかの定型がある．各論文の文献リスト内の一貫性が保たれている限り，上記の記載形式と隔たりがあっても許容する．

Ⅴ．投稿方法

1．送付方法

執筆された論文のファイルは，E-mail，もしくは CD-R などで下記に送付する．

大村印刷株式会社内
「医療職の能力開発」編集事務局
E-mail：jjhpd-jsish@med.omura.jp
〒105-0014　東京都港区芝 1－9－3　芝マツラビル 1 階

以下の項目を満たした投稿論文が受理される．

① 二重投稿になっていない．
② 倫理審査が必要な場合に審査済である．
③ 共著者全員の同意を得ている．
④ 利益相反の情報を開示している．

2．カバーレター

草稿送付の際には，カバーレターを添付する．学会発表した経歴があれば，その旨を記さなければならない．記事の希望種別についても明記する必要がある．

Ⅵ．編集委員会と査読

1．編集委員会の役割

① 雑誌の編集方針，記事掲載の決定作業等を通じて，日本医療教授システム学会の学術活動に資する必要がある．

② 論文の投稿を受けて，受理，査読，掲載可否の決定等の作業を行う．

2．査読の手順

① 編集委員会は，論文の専門分野に照らし合わせて適切な査読者を 2 名選任する．2 名の意見が大きく異なったとき，2 名のいずれかが一定期間内に査読できなかったときには，3 人目以降の査読者を割り当てることがある．

② 投稿論文の採否の決定は編集委員会が行い、採否およびその理由を著者に通知しなければならない．

3．審査結果

① カテゴリー

* 採択：わずかな字句修正などのみで掲載可と判断されたもの．
* 条件付採択：原則に従った修正により掲載する方向で返却するもの．
* 再審査：論文の本質的な修正をしなければ掲載できないもの．再審査の判定は 1 回のみで，2 回目はこのカテゴリーの審査結果に留めることを認めない．
* 不採択：この雑誌の主旨に合わないもの，新たな知見を加えないもの，データと結論が著しく乖離するものなど．

Presented by Medical*Online

② 編集委員による利益相反
編集委員は，自身が著者であるような投稿論文の査読や採否の審議等に関与しない．

③ 編集委員における倫理規定
編集委員や査読者は、投稿論文の査読や採否の審議等を通じて得た情報を、編集委員会外部に漏洩してはならない．また，それらの情報を利用した行為を行ってはならない．

Ⅶ. 論文採択後

1．著者校正
論文採択後,「医療職の能力開発」編集事務局より著者校正が送付される．著者校正に際して，下記の点に留意する．

① 著者校正は原則初校のみとする．
② 校正に際して原則誤植や体裁以外の修正を認めない．
③ 著者校正は到着後３日以内に確認し,「医療職の能力開発」編集事務局宛に返送する．

2．掲載料
Ａ４（１ページ約2,000字）での仕上がりページ数に応じ，６ページ分まで無料．それ以降は１ページ増える毎に10,000円を著者が支払う．

投稿についての問い合わせ先
雑誌「医療職の能力開発」編集事務局
大村印刷株式会社内
〒105-0014　東京都港区芝1-9-3　芝マツラビル1F
E-mail：jjhpd-jsish@med.omura.jp

Presented by Medical*Online